

収益事業の推進について

収益事業委員長 赤尾 栄 司

当委員会では、継続事業 として、近年の補助金の削減に対応できる今後の収益事業の模索検討も委員会に傷害共済の拡大推進事業ならびに傷害共済の推進におきましては定期的目標をたて進めていきます。また、そろばん教室においては、生徒の増員につながる広報活動も行なっていかなければなりません。

アメリカでは大統領選の真っ最中です。大統領といえば演説が大変重要視されています。名文として故ケネディー大統領の演説がよく引き合いに出されますが、私が心引かれる言葉に、「祖国があなたの為に何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが祖国の為に何ができるかを問おうではないか」というのがあります。自分達で祖国を作り、守っていかうというケネディーの若さと情熱を感じます。この言葉はアメリカという遠

地域のために何ができるか？

青年部 部長 富岡 明

遠い国の話にとどまらず、今の日本の身近な諸問題に立ち向かうにも勇気が出る言葉です。

商工会活動といえば、ややもすれば、メリットがあるか？何をしてくれるのか？という考えになりがちです。しかしながら、そういう考えではこの活動を否定的に捉えざるを得ません。そうではなく、地域の為に何ができるか？をお互い問い、行動し、喜びを分かち合う、そんな仲間づくりや活動ができればと思っています。



この活動はまだ始まったばかりで、これからどうやって商品化し、販路を開拓していくのかまだまだ課題はたくさんありますが、メンバーみんなの力を合わせれば少しでも目標に近づくとができると考えています。今後私たちの特産品開発が、地域の方々に喜んで利用していただけるよう、またこうした地道な活動が、街づくりの活性化に役立つことを目標に努力していきたいと思っています。

いきいきハイマート事業 羊さんからのプレゼント

女性部

ふくらの森羊牧場の羊さんたちから毎年たくさんの高価で貴重な羊毛が取れます。

羊毛は、羊そのものと同じ癒し効果が期待できる健康的な繊維とも言われています。女性部ではこの羊さんからプレゼントされた羊毛を使い、「健康的な天然手作り作品」を主旨とした特産品開発に取り組んでいます。洗い・染め・紡ぎ・作品作りの四つの工程それぞれで試行錯誤を繰り返して、たくさんの方々の時間と手間をかけて、やっと初めての手作り作品を生み出すことができました。

